



追手門学院大学社会学部生が茨木市立ギャラリーで展示準備・運営担当 7月16日から写真家・片山達貴氏の個展を開催

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長 真銅 正宏）社会学部は7月16日（木）から21日（火）まで、茨木市立ギャラリーにて、写真家・片山達貴氏の個展「ククルたち / Kukurs」を開催します。本展は、社会学部 澤田華 特任助教が担当する社会文化デザインコースの授業の一環として行われるものです。学生たちは、期間中、展覧会運営、会場での展示実務、会期中のスタッフ業務などに携わります。

ククルたち



/ Kukurs 片山達貴



2026年7月16日[木] - 7月21日[火]
茨木市立ギャラリー

【ポイント】

- 学生自身が会場での作品設営のサポートや受付・案内などのスタッフ業務を担い、今後の自身の創作活動へ繋げる。
- 人間と共生する「他者」としての犬をテーマにした展覧会を通して、現代社会を見つめ直す。
- 地域のギャラリーを活用し、大学での学びを広く地域に発信。

社会学部社会学科社会文化デザインコースでは、学生がアートや文化事業の現場を実践的に学ぶ取り組みを継続しており、芸術文化事業として学外から美術作家を招聘して開催する展覧会は今回で3回目を迎えます。学生たちは、片山氏によるレクチャーやワークショップへの参加を通じて作品への理解を深めた上で、展覧会開催に向けた事前準備や設営のサポート、会期中の運営スタッフ業務を担います。単に作品を鑑賞するだけでなく、作家の制作プロセスを間近に捉えながら展覧会の成立過程全体を体系的に学ぶことが、本取り組みの狙いです。

写真家・片山達貴氏はこれまで「自己と他者との関係性」をテーマに作品を制作しており、近年は身近な「犬」という存在に着目し、人と犬をめぐる多様な関係性から私たちの社会や制度を見つめ直す試みを続けています。今回の展示では、ネパール・カトマンズでのリサーチをもとに撮影された風景や、現地で生きる多様な犬たちの姿、関連資料を中心とした構成予定で、犬たちの姿を通して、私たちの日常や社会構造を新たな視点で捉え直すきっかけとなる展覧会として開催します。

■ 開催情報

- 会 期：2026年7月16日（木）～7月21日（火）
時 間：10:00～19:00（※最終日のみ17:00まで）
会 場：茨木市立ギャラリー（〒567-0816 大阪府茨木市永代町1-5 阪急茨木市駅ロサヴィア2階）
主 催：追手門学院大学社会学部
共 催：茨木市、（公財）茨木市文化振興財団
協 力：追手門学院大学社会学部社会文化デザインコース
企 画：澤田華 / デザイン：uosada studio / Yudai Sada

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-665-9166 西村・織田